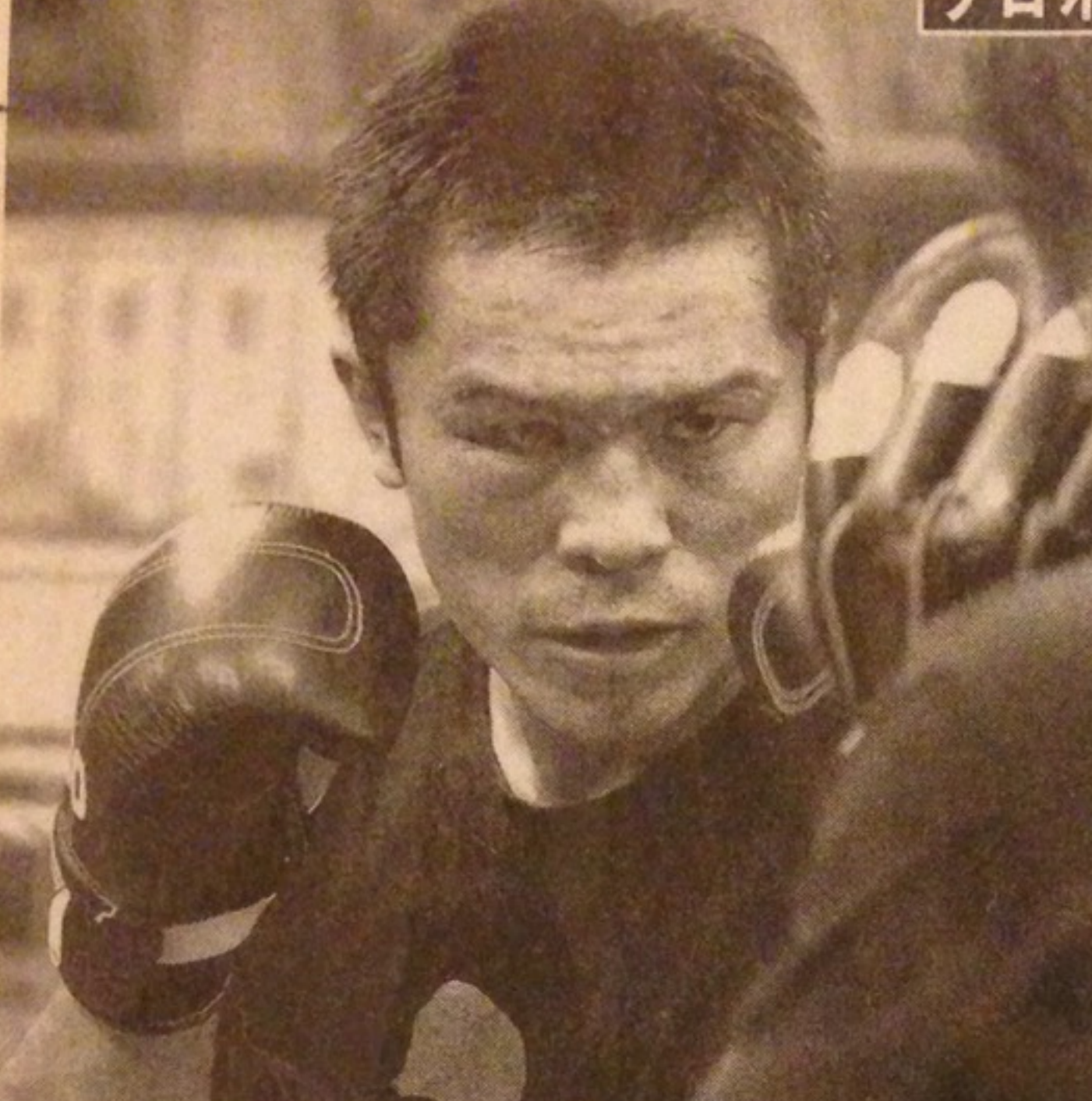


王座戦負傷から5カ月22日にノンタイトル「復帰戦」

大橋 勝利

新婚初試合



久々の実戦に向け練習に気合が入る東洋太平洋スーパーバンタム級王者の大橋＝名古屋市熱田区の松田ジムで

プロボクシングのスーパージョニア級東洋太平洋王者の大橋弘政(29)が今月22日に愛知県の刈谷市産業振興センターで、ベルトを奪取した6月の王座戦以来5カ月ぶりの実戦(ノンタイトル)に臨み、児島芳生(29)と兵庫・明石と対戦する。王座戦の負傷でランクが空いたが、来年3月に予定される初防衛戦も見据えて意欲的に練習を積んでいる。10月には結婚。新しい家族を得て臨む初戦に、ノンタイトルとはいえ「絶対、負けられない」と気合を高めている。

▼大橋弘政(おおはし・ひろまさ) 1979(昭和54)年12月31日名古屋市熱田区生まれの29歳。165センチ。同朋大に在学してい

奇跡的な逆転KOで東洋太平洋戴冠を決めた大橋が、ようやく動き出した。「体はもう大丈夫。試合に向けて、調子を上げていきたい」と、闘志をみなぎらせた。名古屋のファンを興奮の渦に巻き込んだ前回の

妻は「勝利の女神」、交際中負け知らず

王座戦。世界戦挑戦経験もある前王者・ロリー・松下(25)と石川・カシミに、ダウン寸前からの反撃でKO勝ちを奪った。だがパンチを浴びながら前に出続けた代償は大きく、試合後に右眼窩(がんか)底などの骨折が判明。3週間の入院を余儀なくされ、練習再開も9月に入ってから。初防衛戦の前に今回の試合を挟むことになった。

ぼっかりブラックが空いたが、タイトル獲得の要因になった大橋の気力はまったく衰えていない。「チャンピオンにふさわしい練習をしていると言われたい」と、練習は今まで以上の熱気。初防衛戦も見据え「勝ったとはいえず、守備の強化を課題にして汗を流している。11月のノンタイトルマッチは、あくまで防衛戦をにらんだ『復帰戦』の意味合いが強い。だが大橋には負けられない理由がある。3年間交際していた竹内彩恵さん(29)

た2000年5月にHEIWAジムに入門し、ボクシングを始める。同年11月プロデビュー。右ストレートが得意の右ボクサーファイ

中部スポーツ
応援宣言

と、ベルト獲得を区切りとして10月に入籍したからだ。付き合い始めてから負けたことがないという「勝利の女神」とともに迎える初戦に「絶対勝つ」という気持ちがあめちやくちやあります」と気合を入れる。

児島とは4年前にも対戦し2-0の判定勝ちを収めている。だが今回の再戦は、王者として勝利以上のものを心に期する。「これぞチャンピオンという試合を見せたい」。ファンに再び魂を揺さぶるファイトを見せつけることを誓った。

(田中一正)

ター。今年6月に東洋太平洋スーパーバンタム級王座を獲得。対戦成績20勝(13KO)8敗3分け。現在8連続KO中。